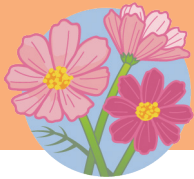


# 森 あやこ

## ニュース

Ayako Mori



発行：福岡市議会議員 森あやこ



No.36  
2024年 夏・秋号

P.1 増やそうグリーンインフラ

P.2 保育士の配置基準の見直し

自衛隊への名簿提供

P.3 新型コロナワクチン定期接種

6月議会 歳入歳出予算の補正額

P.4 ガイアシンフォニー視聴会

市民ネット情報

## 気候危機は待ったなし!! 増やそう グリーンインフラ 6月 議案質疑

ため池を処分する議案が上程され、流域治水の推進やグリーンインフラ推進戦略を取りあげ、河川や、その流域の生態系の保全・再生は目に見えない部分のことまで考えていかなければならないことなど、具体的に自治体で推進することを求めました！



「グリーンインフラ」というのはね♪  
社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、  
自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な  
景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力  
ある国土づくりや地域づくりを進めるものです♪

※「グリーンインフラ推進戦略」

人と自然環境のより良い関係の構築につなげる戦略。自然環境の機能を  
活用した取り組みに対応した法令等や支援制度が整備されています。



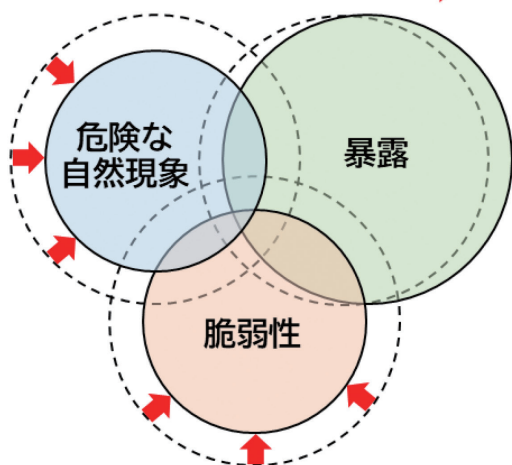
## ● 生態系の保全・再生と防災・減災の関係性

### 【ハザードの軽減】

気候変動緩和策  
雨水貯留浸透の促進 等

### 【暴露の回避】

土地利用の検討 等



【脆弱性の低減】  
緩衝機能の向上 等

### ■ハザードの軽減 危険な自然現象の発生を抑える

- ・洪水や土砂災害など、危険な自然現象（ハザード）の発生の抑制に、生態系の様々な機能を活用する。
- ・森林や緑地が雨水を一時的に貯留・浸透させる機能、ため池や農地が降雨時に雨水を貯留・浸透させる機能（田んぼダム、ため池の事前放流など）等

### ■暴露の回避 土地の成り立ちを考慮した利用を行う

- ・危険な自然現象の影響が及ぶ範囲に人命や財産等をさらさないために、自然災害によるリスクを念頭に置いた土地利用を考える。
- ・河川の氾濫原のように定期的な自然の攪乱を受ける場所を湿地やワンド・たまりなどとして維持することで、自然災害によるリスクの低減だけでなく、生物多様性の保全を図る 等

### ■脆弱性の低減 危険な自然現象に対する緩衝帯として生態系を利用する

- ・自然災害と人命や財産等の間に緩衝材を設けることで、危険な自然災害からの影響を低減する。
- ・津波被害の低減や防風・防砂を目的とした海岸防災林、洪水時に流木や土砂等が背後の農地等へ流入することを防ぐ水害防備林、防風・防雪や日射の遮蔽等を目的とした屋敷林 等